

送 辞

校舎に差し込む暖かな優しい光が、新しい季節の訪れを伝えています。

3年生の皆さん。御卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心からお祝いを申し上げます。

皆さんがこの南部中学校で過ごした3年間は、どのようなものでしたか。今、一人ひとりの心の中には、様々な思い出が込み上げていると思います。

躍友祭。放課後の練習に一生懸命に取り組む先輩方の姿からは、中学校最後の躍友祭にかける熱い思いや気合いを感じました。本番当日の息のあった長縄跳び。本年度は全員で跳ぶことができ、クラス一丸となって長縄に挑んでいる姿は、本当に輝いていました。迫力ある「台風の目」や、見応えのあるリレーにも圧倒されるばかりでした。グラウンドに響き渡る皆さんの応援の声は、私たちにもパワーを与えてくれました。全力で競技し、全力で楽しんでいる先輩方の姿。先輩方が盛り上げてくださったおかげで、私たち下級生にとっても、かけがえのない思い出となりました。

緑友祭。音楽室や教室から聞こえてきた皆さんの歌声は、日に日に輝きを増していきました。交換合唱では、声の出し方や表情など、たくさんのアドバイスをいただき、自分たちのクラスの合唱につなげることができました。そして、緑友祭当日。先輩方の合唱はただ、ただ見事でした。1組「はじまり」、2組「手紙」、3組「あなたへ」、4組「青鷺」、5組「走る川」。大人らしい声の響き。美しいハーモニー。見事に表現されていた曲想。堂々と胸を張って、仲間と心を一つにして歌う姿。私たちはどのクラスの合唱にも魅了され、深い感動を覚えました。また、個性溢れたステージ発表でも、3年生の皆さんがダンスやピアノで会場を盛り上げてくださいました。これも忘れられない楽しい思い出となりました。

そして、部活動。部活動は一番先輩方と交流できる場でした。グラウンドやコート、体育館から響く大きなかけ声。音楽室や美術室でのひたむきな姿。先輩方のプレーや演奏、作品は、いつでも私たちの憧れであり、目標でした。3年生が引退されてから初めて知った、チームを引っ張ることの難しさ、まとめることの苦勞。改めて先輩方の偉大さを感じています。時には厳

しく、時には優しく指導して下さった3年生。先輩方の教えてくださったことや、つないでくださった伝統を、今度は私たちが後輩に伝えていくのです。今はまだ先輩方のような尊敬される存在にはなれていません。しかし、これから努力しようと思えるのは、皆さんの存在があったからです。

こうして振り返ってみると、先輩方が私たちを支えて下さったことがたくさんありました。先輩方はいつでも私たちのお手本であり、憧れであり、目標でした。そんな先輩方が南部中学校を旅立たれると、ぽっかり穴が空いてしまうような不安があります。でも、私たちは先輩方の姿から、一生懸命努力すること、何事にも真摯に向き合うこと、そして、みんなで団結することの素晴らしさを学びました。私たちは、先輩方が築いてくださった伝統を引き継ぎ、さらに南部中学校を盛り上げていきたいと思います。

これから先輩方は、それぞれの夢や目標に向かって、新たな道を進んでいかれます。時には迷ったり、壁にぶつかったりすることもあるかと思えます。そんなときは、南部中で過ごした時間を思い出してください。みんなで頑張ったこと、喜び合ったこと、泣き合ったこと。励まし合って、勉強や部活動に向き合ってきたこと。仲間と過ごしたかけがえのない3年間の日々。それらはきっと、皆さんの背中を力強く押してくれることでしょう。

まだまだ名残はつきませんが、もうお別れの時間です。最後に先輩方の御健康と御活躍をお祈りして、送辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

令和5年3月16日
在校生代表 榎本恵美